



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
リハビリテーション科の紹介	2
亀岡市立病院健康講座のお知らせ	3
第4回認定看護師セミナーを開催しました	4
平成28年度病院事業会計決算の概要	5
亀岡市立病院新改革プランの進捗状況	6
地域連携医のご紹介 編集後記	7
外来担当医表	8

ごあいさつ

新しい年度を迎えるにあたりまして、本年も亀岡市立病院をよろしくお願い申し上げます。

今年は診療報酬と介護報酬の同時改定の年にあたり、年末から色々の情報が錯綜する中で現在の医療供給が継続できるような手立てを厚労省は国の立場で、我々は病院の立場で試行錯誤している状態です。医療の進歩とともに治療効果の高いお薬が発売され治療薬が高額になる一方で、手術自体も時代とともに高度の技術を必要とし、手術ロボットの登場や検査機器の進歩により治療体制を整備維持するために多額に費用を必要とすようになっていきます。これは良いことではありますが病院を維持継続していく事を困難にしています。公立病院は必要最小限の医療資源の投入のもとに適正な医療を行おうと意識しておりますが、民間病院の中には存続維持のため採算性を意識し、高密度の治療を進め、中には過剰と思われる治療も存在し、それが国の医療財政を圧迫することとなっています。我々国民は国民皆保険制度に守られることで、所得の程度にかかわらず皆平等な治療を受けることが可能な状況にあります。世界中を見渡してこれ程平等に、時としてお仕事が無いの方が治療にアクセスしやすい体制が維持できている国はないと思われま。この体制を継続するためには国民みんなで知恵を出し合って考えて行かねばなりません。我々病院もただ単に治療を行うだけでなく、医療のムダを無くし、不必要な受診を少なくする努力を行い、広い視点で医療を考え患者様に発信できるように努力していきたいと思いますので、ご協力よろしくお願ひいたします。



亀岡市病院事業管理者
兼亀岡市立病院長事務取扱
兼地域医療情報センター長 玉井 和夫

リハビリテーション科の紹介

当院の理学療法とは：

主に入院早期からの急性期医療を行っており、対象疾患は多岐にわたります。直接、在宅復帰が可能な患者さまは、退院に向けてのお手伝いもさせていただき、必要に応じて地域包括ケア病床へ転床や外来リハビリに移行など、幅広いニーズに対応しています。

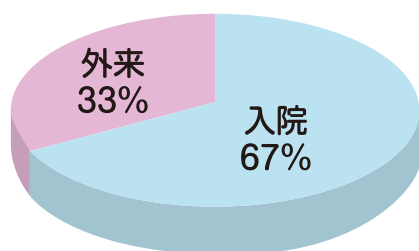
当院の作業療法とは：

理学療法士と協働して患者さまを担当し、その方に必要な日常生活動作や家事動作の練習を実施します。上肢の外傷の患者さまの場合早期に退院される方が多いですが、外来通院の継続にて目標が達成できるようサポートしています。

地域包括ケア病床とは：

入院治療後、病状が安定した患者さまに対して在宅復帰に向けた診療・看護・リハビリテーションを目的とした在宅復帰支援のための病床です。また、在宅療養の方が病状の不安定等により入院が必要となった場合、かかりつけ医から依頼を受けて入院いただく病床でもあります。

図1：入院と外来の割合



特徴：

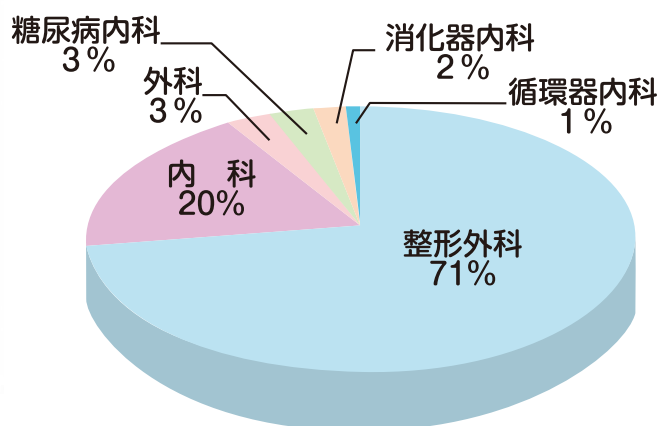
理学療法士6名(常勤)、作業療法士2名(常勤)、うち地域包括ケア病床専従1名が在籍しています。入院の患者さまに対してはできる限り1日2回、午前・午後のリハビリテーションを実施しています。また、休日出勤にて3連休以上の休みがないように配慮しリハビリテーションの連続性が保たれるように努めています。医師、病棟看護師、地域連携室スタッフ、リハビリテーション科スタッフによるカンファレンスを定期的に行い患者さまごとの機能評価や問題点を整理し、適切なリハビリテーションを提供できるように努めています。

平成29年4月～12月の新患の割合(図1)は入院67%、外来33%で疾患別には運動器疾患が94%と大部分を占めています。診療科別(図2)に見ても整形外科からの依頼が最も多く71%、次いで内科の20%でした。

平成28年3月～地域包括ケア病床を10床新設し、平成29年4月～20床へ増床しました。退院前カンファレンスや家屋評価に積極的に参加し、ご家族さまやケアマネージャー等と在宅サービスの意見交換ができ生活を見据えた介入が可能になりました。また、主治医や看護師との日々の意見交換は欠かさず、他職種が協働し同じ方針・目標を持って退院支援を行っています。皆さまが住み慣れた地域で暮らし続けられるようにスタッフ一同、日々研鑽し取り組んで参ります。

(リハビリテーション科 科長 織田史雄)

図2：診療科別の割合(入院)



＋ 平成29年度 健康講座を開催しました

1月23日、認知症をテーマに当院2階ウェルネスホールにて開催した講座には、70人超の方々にご参加いただきました。認知症とは何か、認知症患者の声、認知症予防等についてお話を聞いていただきました。また、講師からの説明やビデオに合わせからだを動かしながら頭も動かす体操等を一緒にしていただきました。



平成29年度は計9回の講座を開催し、回を重ねるごとに、参加いただける方も増えてきました。講座修了後、質問される方も多く、健康に対する関心の高さが感じられました。直接お声が聞くことができ、大変うれしく思っています。

平成29年度開催実績

開催日	開催場所	テーマ	講師
5月25日	ウェルネスホール	「乳がん」とはどんな病気？ よし！検診に行ってみよう	田中診療部長 上原診療放射線技師 山田がん化学療法看護認定看護師
6月24日	南つづけ丘コミュニティセンター		
7月26日	ウェルネスホール	医療スタッフが教える“コツ” ～お薬・家庭用血圧計～	居村薬剤師 長尾臨床工学技士
10月21日	大井生涯学習センター		
9月30日	亀岡市役所 市民ホール	大丈夫ですか？ あなたの「腰痛」 ～皆さんの疑問にお答え します～	山崎整形外科医師 木村内科部長 橋本麻酔科部長 織田リハビリテーション科長
11月16日	ウェルネスホール	もったいない！ 活かそう健診結果	原臨床検査科長 森栄養科長
12月16日	南つづけ丘コミュニティセンター		
1月23日	ウェルネスホール	「Let's try and study together」 今日から始めよう～認知症予防～	山下認知症看護認定看護師 樋口作業療法士
2月3日	千代川町自治会館		

平成30年度も引き続き当院2階ウェルネスホール、地域の公民館等で健康講座を行う予定です。詳細につきましては、当院ホームページ、フェイスブックなどで随時お知らせいたします。多くのおみなさまの参加をお待ちしています。



第4回 認定看護師セミナーを開催しました

看護部は、毎年、認定看護師によるセミナーを開催しています。認定看護師セミナーでは、地域の医療・介護職の方とともに専門知識を学び、より質の高い看護を市民の皆様を提供することを目的としています。

テーマ：想像しよう！認知症者の世界 ～寄り添い続けられる存在となるために～



12月9日に亀岡市立病院ウエルネスホールで開催した第4回認定看護師セミナーは、「認知症ケア」をテーマに、山下認知症看護認定看護師を講師として、京都府看護協会口丹地区との共催で行いました。地域の病院、高齢介護施設、在宅領域で看護・介護に関わる関係者56名の参加がありました。働く場を超えて認知症ケアの現状とこれからの共に考えながら、熱心なディスカッションがされました。

～参加者の声～

グループワークで顔の見える関係ができて良かった。今後に役立つ内容でした。

(居宅支援事業所勤務：
精神保健福祉士)



地域との連携の大切さを改めて感じました。このような機会があればまた参加します。

(病院看護助手)

多施設の方々とグループワークができ、有意義な研修でした。

(病院看護師)

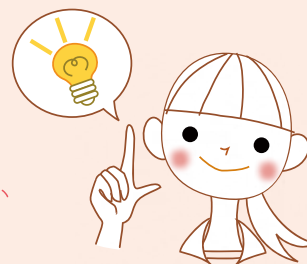


山下認定看護師の話がわかりやすく、知識の再確認ができました。

(訪問看護師)

～参加者の職種～

訪問看護師、保健師、病院看護師、准看護師、看護補助者、精神保健福祉士、介護福祉士、社会福祉士、ケアマネージャー、理学療法士、作業療法士



今後も地域の医療・介護職がともに学び合いながら、医療・介護の対象となる方を中心として、多職種とともに、働く場を超えた連携をさらに強めていきたいと考えています。

平成28年度市立病院の決算概要について

亀岡市立病院は、平成16年度に開院して以来、市民の皆さまの命と健康を守るための安全安心の拠点施設として、良質な医療を継続して提供しています。

また、公立病院としての役割を着実に果たすため、地域医療機関との連携を深め、医療サービスの向上や診療体制の充実、経営の効率化に努めているところです。

特に、平成28年度は、市立病院新改革プランを策定いたしました。各部署で設定した目標の達成に向けて、職員一人ひとりが自発的に取り組んでいくことで、今後、一層市民の皆さまから信頼される病院づくりと健全な病院運営を進めてまいります。

本年度の医療機器につきましては、病院事業も13年目を迎える中で、超音波画像診断装置や、主として外科手術で使用する高周波手術装置、医療器具の滅菌のための低温プラズマ滅菌器を更新するなど、提供する医療の質的向上と安全性の確保のため、最新の機器の更新整備を計画的に進めました。

1. 患者数の状況

入院患者数は、年間では27年度に比べ2,739人増加して延べ26,269人となり、1日平均では27年度に比べ7.7人増加して72.0人となりました。病床利用率は、27年度に比べ7.7ポイント増加して72.0%でありました。

また、外来患者数は、年間では27年度に比べ2,501人減少して延べ61,776人となり、1日平均では27年度に比べ10.3人減少して延べ254.2人となりました。

2. 収益的収入及び支出の状況

収益的収入は、27年度に比べ9,545万円増加して21億135万円となりました。内訳は、入院収益が9億2,543万円、外来収益が6億2,396万円、一般会計繰入金が4億7,602万円、室料差額や予防接種などの収入が7,594万円となっています。一般会計繰入金は、国の制度などにより、病院事業の経費のうち政策医療である救急救命医療や高度医療など国や市の一般会計が負担すべきと決められている経費に相当する収入です。

一方、収益的支出は、27年度に比べ1,862万円減少して23億8,808万円となりました。内訳は、常勤や非常勤職員の給与費が12億6,700円、薬品や診療材料などの材料費が3億4,512万円、施設の管理運営などの経費が3億6,062万円、施設や医療機器などの減価償却費が2億3,990万円、企業債の支払利息が5,170万円、その他が7,330万円、地方公営企業会計制度改正により生じた特別損失が5,044万円となっています。

年間の経営成績をあらわす収益的収支差引では、平成27年度に3億5,036万円の経常損失(赤字)を計上しましたが、平成28年度は、2億3,629万円の経常損失を計上し、特別損失5,044万円を加えた純損失は2億8,673万円となりました。

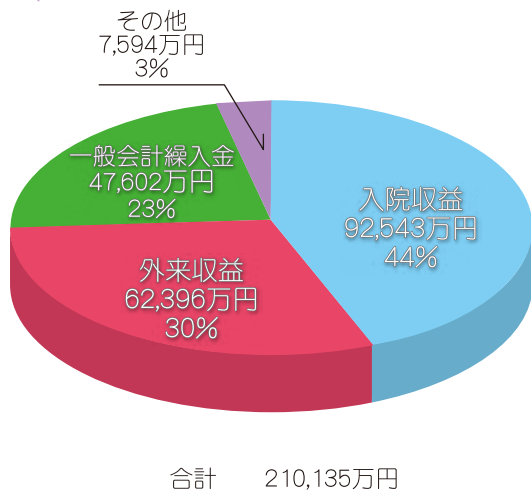
その結果、前年度からの繰越欠損金5億2,457万円を加えた当年度未処理欠損金は8億1,130万円となっています。

当院において、近年続いておりました常勤医師数の不足もようやく解消でき、平成29年度は収益が上昇しており、損失額も縮小できる見込みであります。

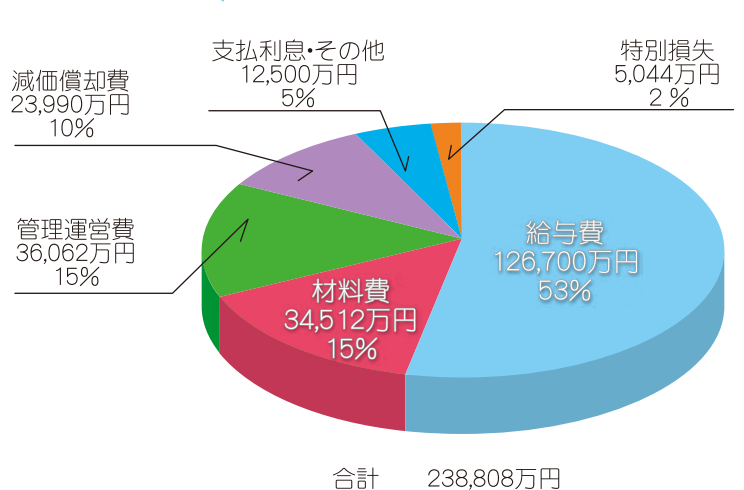
今後とも“安心と信頼の医療”を目指し、公共性と経済性を考慮して透明性のある病院運営に努めてまいりますので、市民の方々をはじめ関係各位の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

※平成28年度病院事業会計決算の概要については、当院のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

収益の構成



費用の構成



亀岡市立病院新改革プランとその進捗状況について

市立病院では、国が進める地域包括ケアシステムの構築※¹の実現、また、都道府県が策定する地域医療構想※²を踏まえ、新改革プラン(計画期間:平成29年度から32年度)を策定し、公立病院としての役割を果たすとともに経営改善の取り組みをすすめているところです。計画を進めるために具体的なアクションプランを作成し、施策毎に担当者を決めて成果のチェックと管理をしています。また、計画の進捗状況や経営状況などを点検・評価するため、病院内部で行う会議だけでなく外部有識者の方を含む“亀岡市立病院経営審議会”で検討、協議しています。



(院内)新改革プラン・アクションプランの説明会

今年度は、平成29年11月10日に第2回亀岡市立病院経営審議会を開催し、プランの進捗状況や取り組み内容の報告、いろいろなご意見をいただきました。平成29年度上半期(4月から9月)の状況は、周辺地域診療所との紹介・逆紹介も向上し、外来機能の適正化や有効な入院ベッドの活用が進み、全体的に計画を上回る成果が得られ順調に推移しております。今後もしっかりとした計画の推進と成果を管理しながら職員一同全力で取り組んでいきたいと考えております。



亀岡市立病院経営審議会

(亀岡市立病院新改革プラン、亀岡市立病院経営審議会の資料・議事録などは市立病院ホームページからご覧いただけます。)

亀岡市立病院 新改革プランアクションプランの進捗状況
プラン進捗(主要目標達成率)

項目	計画	実績	達成率			
			29	30	31	32
外来患者数(人)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
病室稼働率(%)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
1日あたり外来患者数(人)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
外来手術(件)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
病室稼働率(%)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
病室稼働率(%)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
救急・特命隊(人)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
入院患者数(人)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
1日あたり入院患者数(人)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
手術患者数(人)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%
手術患者数(人) (1日あたり手術台稼働率)	27 28 29 30 31 32	27 28 29 30 31 32	100%	100%	100%	100%

※1地域包括ケアシステム

これから迎える超高齢化社会による高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、市町村が中心となり「住まい」・「医療」・「介護」・「生活支援・介護予防」を“包括的に”体制を整備していく。

※2地域医療構想

2014年に成立した、医療介護総合確保推進法によって、都道府県が策定することを義務化したもので、限られた医療資源を効率的に活用し、切れ目のない医療・介護サービスの体制を築く目的で、将来の医療需要と病床の必要量を推計し、地域の実情に応じた方向性を定めていく。

地域連携医のご紹介

当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

しらべ内科整形外科医院

院長：調 幸治

副院長：調 早苗、調 拓治

住所：京都府亀岡市大井町並河2丁目13-11

TEL：0771-23-8943

標榜科目：内科、整形外科、小児科、皮膚科、
リハビリテーション科

診療時間：午前 8:45～11:45、午後 4:45～7:45
休診は水・土曜日午後、および日曜日・祝日



医院より一言

当院は昭和58年3月に亀岡市大井町で父母が開設してから、今年3月で35年となります。同年6月に生まれ、一緒に育ってきた私としては兄弟のように医院に愛着を感じています。

開業当初より地域のかかりつけ医として、内科、整形外科を中心に、困ったことがあれば何でも相談に乗っています。自身も理想の僻地・離島診療を目指して研鑽を積んできましたので、総合診療医(家庭医)としてさまざまな訴えに応じています。次の35年は、開業当初にカゼで受診した10歳の子が歳をとり、80歳となっても継続したケアを行い、信頼できるかかりつけ医として地域医療に貢献できれば幸いです。

亀岡市立病院には診察・検査・治療等でも助けられております。また先日は父がリハビリ入院でお世話になりありがとうございました。祖母を看取っていただいたこともありました。

ふるさと亀岡を守る公的医療機関として頼りにしておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(文責 調 拓治)

編集後記

「過去最強クラスの寒波」とも報道された猛烈な寒さであった今年の冬でしたが、暑さ寒さも彼岸まで、とも申します。日ごとに春めいてゆくこの季節、皆様いかがお過ごしでしょうか？

私は昨年10月に発行した前号から広報委員会事務局として当広報誌の編集に関わり、広報の重要性を実感する毎日です。当院は、地域に根ざした親しみやすい病院づくりを目指して、日々の診療や健康講座などのイベントに職員一同となって取り組んでおります。それらの取り組みを、当広報誌をはじめ、院内掲示、ホームページ、市立病院公式Facebookなど様々な媒体でご紹介しています。

今号も、皆様が当院の取り組みを知っていただくきっかけとなれば幸いです。

職員一同、市民の皆様から信頼される病院を目指してまいりますので今後ともよろしくお願い致します。

広報委員会事務局 小柳津 雄介(病院総務課)

市立病院公式Facebookはこちらから！
(ぜひページ・記事への「いいね!」をよろしくお願いします!)



外来担当医表 (平成30年3月現在)

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上原 有紀子	うめ むら あつ し 榎村 敦詩	おか だ よし ひさ 岡田 頼久	—	岡田 頼久
循環器内科	みなみ よし と 南 喜人	ひく い けん ずけ 福居 顕介	あ だち ゆう 足立 悠	福居 顕介	まつ お りょう へい 松尾 龍平
一般内科	けい ら なつ や 計良夏哉 (第1・3・5週) き せき たい じろう 木村 兌弘 (第2・4週) はま べん まさ ひで 濱口 真英	き むら ひみ こ 木村 史子 し せき 村 ゆう じ 志村 勇司 (予約)	まつ お りょう へい 松尾 龍平	木村 史子	にし やま だい ち 西山 大地
神経内科	—	—	—	うえ だ てつ ひろ 上田 哲大	—
糖尿病内科	—	—	はし もと よし たか 橋本 善隆	—	おお さか たか しみ 大坂 貴史
糖尿病内科 午後(予約)	—	—	はま べん まさ ひで 濱口 真英	—	はま べん まさ ひで 濱口 真英
ペースメーカー 外来	—	—	—	—	まつ お りょう へい 松尾 龍平 (偶数月の第2週)
皮膚科	—	—	かね まる ま い 金丸 麻衣	—	つづみ み ほ 堤 美穂
泌尿器科	—	しろ いし たくみ 白石 匠	—	—	—
泌尿器科 午後(2時~4時)	—	—	—	ぬく い まさ のり 温井 雅紀 (第2・4週)	—
外科1診	あま けい 池 寿 (第1・3・5週) あらい き 荒木 康伸 (第2・4週)	担当医	田中 宏樹	天池 寿	あらい き 荒木 康伸
外科2診	—	—	かね やま み が 金山 益佳 (乳 腺)	ゆたか ようじろう 豊 洋次郎 (呼吸器)	—
外科 午後(予約)	—	—	田中 宏樹 (乳 腺)	—	—
麻酔科 (パインクリニック)	はし もと とも こ 橋本 朋子	—	—	—	橋本 朋子
眼科	なが た けん じ 永田 健児	担当医	—	担当医	—
整形外科 1診	く ほ やす おみ 久保 恭臣	玉井 和夫 (予約)	久保 恭臣	はやし だい ち 林 大智	久保 恭臣
整形外科 2診	やま さき てつ ろう 山崎 哲朗	山崎 哲朗	山崎 哲朗	—	いわ い ひろ ゆき 岩井 宏之
整形外科 3診	たま い かず お 玉井 和夫	—	—	—	—
小児科	てら まち しん じ 寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二
小児科 午後(予約)	寺町 紳二 (循環器)	寺町 紳二 (予防接種)	寺町 紳二 (予約外来)	寺町 紳二 (循環器・アレルギー)	寺町 紳二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する 京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。



JR馬堀駅から徒歩約5分/京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車(輪)場有

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
 TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は平成28年(2016年)熊本地震被災地の復興を支援します～